

各 位

会 社 名 株式会社 東 研
 代表者名 代表取締役社長 春山 安成
 (JASDAQ コード番号 6738)
 問合せ先 取締役総務部長 大類 隆義
 (TEL. 03-5325-4321)

平成22年 4 月期通期(連結)業績予想の修正及び 特別利益・特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 6 月 19 日に公表しました平成 22 年 4 月期(平成 21 年 5 月 1 日～平成 22 年 4 月 30 日)の連結業績予想の修正と、特別利益・特別損失の発生をお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 4 月期第 4 四半期累計期間の業績予想数値の修正 (平成 21 年 5 月 1 日～平成 22 年 4 月 30 日)

(1) 連結業績予想値の修正

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	4,190	86	32	10
今 回 修 正 予 想 (B)	4,090	55	△23	△34
増 減 額 (B-A)	△100	△31	△55	△44
増 減 率 (%)	△2.4	△36.0	—	—
(ご参考)前期実績(平成 21 年 4 月期)	4,299	△403	△467	△625

(2) 連結業績予想値の修正の理由

売上高につきましては、バーコード関連事業において、2次元コードリーダー(イメージャー)は、組込み受注や新商品が寄与し売上高は増加しましたが、1次元のバーコードリーダーは、価格の下落が引き続き売上高は減少しました。その結果売上高は 40 億 90 百万円になります。

利益面につきましては、人件費をはじめとした経費の節減等による販売費及び一般管理費の減少ができました。しかし、売上総利益率の計画未達や新株発行に伴う追加費用の発生などにより、営業利益 55 百万円、経常損失 23 百万円、当期純損失 34 百万円に修正いたします。

2. 特別利益・特別損失の発生

当連結会計年度におきまして、下記のとおり特別利益・特別損失が発生いたしました。

(1) 特別利益

退職給付制度改定益(連結・個別)

適格退職年金制度から確定拠出年金制度へ移行したことにより、19 百万円を計上しました。

(2) 特別損失

子会社整理損(連結・個別)

当社の海外子会社である Tohken Europe B.V. は、ヨーロッパの設備投資抑制を受け、厳しい状況が引き続き、回復の見通しが不確定のため、整理を行ったことによる損失を連結で 20 百万円、個別で 42 百万円を計上しました。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上